

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月1日

事業所名 スタジオそら幡ヶ谷

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	5	1	0	スペースの有効的な使い方を今後も検討していく
	②	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	適切に行っている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	視覚補助の少ない玄関を構造化していく
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	4	2	0	PDCAを職員で行いながら療育にあたっている子もいるが、全てではない。情報の共有ややり方が全体で統一されていない子もいる。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	保護者から意見をいただいたものはすぐに反映させられるよう周知していく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	0	スタジオで掲示している
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	6	第三者評価はまだ実施していない。実施できるよう検討していく。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	4	2	0	定期的を実施している。より深くまで研修し、スキルアップにつなげていく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	必要に合わせてアセスメントを導入・実施している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	導入済だが実態に合わせて新しいアセスメントの導入も必要である
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	会議にて相談の上決定している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	打ち合わせで内容を決定しプログラムの充実を図っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	6	0	0	定期的に提供するプログラムに加え、様々なイベントプログラムも随時展開している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	必要なプログラムと通所可能なプログラムとのすり合わせが課題
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	毎朝必ず打ち合わせを行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6	0	0	終礼を必ず毎回行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	今後も継続して支援を行う
関係機関	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	今後も継続して支援を行う
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	0	1回のプログラムの中で複数の活動内容に取り組めるよう配慮している
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	管理者が参加。(特定の地域以外はほとんどが電話での聞き取り要請)
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	2	4	0	必要に合わせて行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	2	4	必要に合わせて行っている職員への周知を行っている

や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	4	2	児童発達支援からの継続でない場合難しいこともある
	㉑	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	0	0	6	対象児の利用がない。機会ができれば共有の体制を構築する必要がある。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1	連絡会・担当者会議等で連携を行っている
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	6	機会がないが、必要に合わせて検討していく
	㉔	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	2	区の連絡会には参加している
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2	0	フィードバックにて都度行っている 当事業所以外の様子を細かく聞けていないこともある。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	1	3	2	研修を通じスキルを身につける必要がある。
保護者への説明責任等	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	都度説明をしている
	㉘	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3	1	必要に合わせて面談を行っている
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	3	保護者向けのセミナーは行った。 開催の機会を検討するが、ニーズがない。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	都度対応を検討している。
	㉛	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	そら通信を発行している。 毎月スタジオのカレンダーを発行している。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	常に配慮をしている。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	課題提示の仕方を随時検討している スタジオ外でのやり方との統一・すり合わせを行っている
非常時の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	0	スタジオ内では行っていない 会社全体でのイベントにて地域住民とコンサートを開催している
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	0	保護者閲覧用を作成し設置している。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	年に2度、週間を設けて実施している。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	定期的に研修を実施している。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	4	2	0	必要に合わせて行っていく
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	0	必要に合わせて確認を行っている
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	ヒヤリハット報告書にまとめている